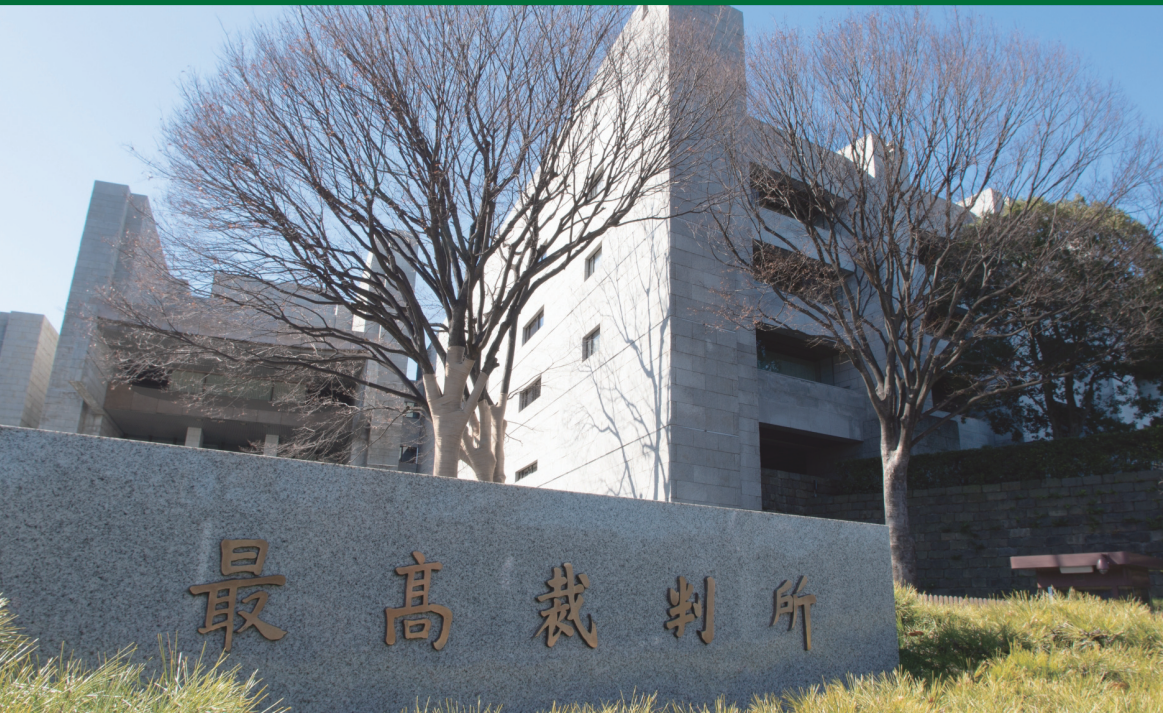


NEWS! 原発を止めた裁判官の最新刊

2025年1月7日発売 岩波ブックレット 樋口英明著



原発と司法

国の責任を認めない最高裁判決の罪

この本では原発問題に焦点を当て、司法の危機を訴えました。権力の暴走に歯止めをかけるための三権分立が崩れたら、私たちを待ち受けるのはファッショ体制でしょう。それは、単に原発問題にとどまらず、民主主義そのものの危機であることに気づいてほしいのです。

(「おわりに」より)

福島であれほどの事故が起きたのに、なぜ原発を止められないのでしょうか。東電に津波対策を命じるべきだった国の責任が、なぜ問われないままなのでしょうか。福井地裁で原発を止めた元裁判長が、そうした謎を平易なことばで解き明かします。さらには、この国の奥深くで進む深刻な危機について考える機会を与えてくれます。72ページのブックレットでありながら濃い内容です。ぜひご一読ください。

ノーモア原発公害市民連絡会

原発問題の勉強会やセミナーなどに絶好の入門書です。団体購入をお勧めします。30冊以上お申込みの方は、まずは冊数を次の連絡先にお知らせください。1冊693円(税込)。郵送料はこちらで負担いたします。

小野寺協同法律事務所 (TEL03-3818-6151 / t-onodera@mue.biglobe.ne.jp)

なるべくファクスでのお申し込みをお願いします。FAX**03-3818-6154**

団体・個人名： 代表/担当： 「 冊」購入します

電話： メール：

恐れ入りますが、29冊以下の場合には書店やAmazon、岩波書店のサイトにてお求め願います。

1952年生まれ。京都大学法学部卒業。1983年裁判官任官、大阪高裁、名古屋地裁などの判事を歴任。

2014年に福井地裁で、関西電力大飯原発3・4号機の運転差止めを命じる判決を下す。翌年には関西電力高浜原発3・4号機の再稼働差止めの仮処分決定を出した。

2017年に名古屋家裁部総括判事を最後に定年退官後、講演や執筆活動を通じて原発の危険性を訴えている。著書『原発を止めた裁判官による保守のための原発入門』（岩波書店）など。

ノーモア原発公害市民連絡会特別顧問



ノーモア原発公害市民連絡会代表世話人・ジャーナリスト

金平茂紀

東日本を壊滅の危機に直面させた福島第一原発事故。国の責任を否定した最高裁が、歴史によって確実に裁かれることを、本冊子によって確信した。著者である原発をとめた裁判長・樋口英明さんは、この冊子で、「原発のことは難しい」という先入観を見事なくらい吹き飛ばしてくれた。

ノーモア原発公害市民連絡会発起人・弁護士

小野寺利孝

(福島原発被害弁護団・ふるさとを返せ津島原発訴訟弁護団各共同代表)

河合弘之

(脱原発弁護団全国連絡会共同代表)

この本は原発に関心をもつすべての方の入門書です。筆者は元裁判官。国の顔色をうかがう司法を変えなければならないことが分かります。

ノーモア原発公害市民連絡会について



3・11のずっと前から国は、巨大津波が福島第一原発を襲う可能性を知っていたのに、東電に対策を命じませんでした。あれは防ぐことのできた事故なのです。しかし最高裁は2022年6月17日、国の責任を問わない判決を下しました。私たちはこの最高裁判決をくつがえす市民運動を展開しています。樋口さんの講演をご希望の方は、小野寺協同法律事務所へご連絡ください。みなさまのセミナーなどに、市民連メンバーを派遣することもできます。

<https://www.genpatu-kogai.net>